

# 「大志」



大きな志をもとうよ。そして、大きな夢の実現に向かって努力しようよ。

## 「5月朝会・・・校長先生の話」

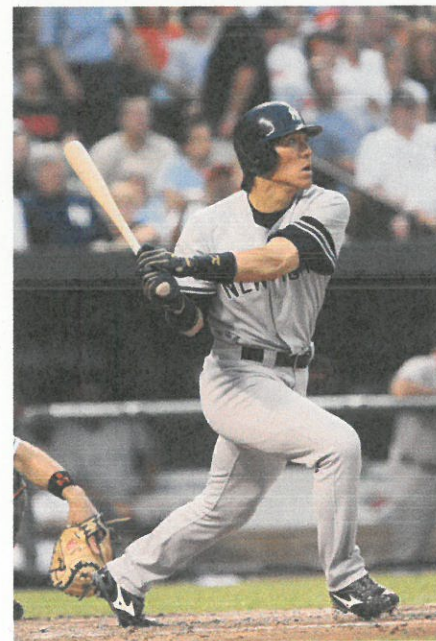
それでは、元気よく朝のあいさつをしましょう。「おはようございます。」今日は九合小学校の児童全員がそろそろ初めての「朝会」です。

昨日のお昼に「代表委員会」の人が各クラスを回って「自分から、なめこ挨拶をして、九合小を笑顔いっぱい为学校にしよう」と5月の生活目標を話してくれました。

そして、「学校の外でも自分から進んで挨拶をして『笑顔』を届けましょう」と話してくれていました。この目標を聞いて校長先生は素晴らしい目標だと思いました。

そこで、今日はこんなお話をしたいと思います。

実は、校長先生は、少年野球をやっていたこともありプロ野球の選手を「すごいなあ」っていつも思っています。



この野球選手を知っていますか。

そう、松井秀樹選手です。高校生の頃からとても注目された選手でした。

松井選手が、アメリカの大リーグで活躍していた頃のお話です。あるテレビ番組で小学生が松井秀樹選手にインタビューをする番組がありました。

その中で、一人の小学生が、

「僕は、大きくなったら松井選手のように大リーグで活躍できるような野球選手になりたいと思います。そのためには、今、何をしたらよいか教えてください。」と、質問をしました。

この質問に対し、松井選手は少し考えてから、こんな答えを話しました。

さあ、みなさんは、松井選手がどんな答えをしたと思いますか？

校長先生は、「しっかりキャッチボールをする」とか「健康な体をつくる」とか、「野球のことや丈夫な体を作ることだ」と答えると思いました。



でも、松井選手の答えは、違っていたんですね。

松井選手は、こんなふうに答えました。

「素晴らしい選手になりたいのなら、明るく元気に挨拶ができるようになることです。野球みたいに、チームでやるスポーツでいちばん大切なことは、仲間同士の信頼関係、つまり、「チームワーク」です。この「チームワーク」をつくるために大切なことはお互いに元気に明るく挨拶をすることなのです。元気な明るい挨拶は、チームの基本です。どんな野球の技術より大切です。」と、答えました。

そう、みなさんの「クラス」や「家族」は、「大切なチーム」です。

家族やクラスのみんなが仲良くしたり、協力したりしていくためにも、明るい挨拶をしていくことが、とても大切だと松井選手は言っているのです。校長先生は、校長先生が言う前に皆さんのほうから先に校長先生を見つけて、「おはようございます」と言ってくれると嬉しいです。

実は、校長先生が九合小に来てから、校長先生に会うと必ず挨拶をしてくれる子がいます。

その子は、6年1組の「さいとう いおり」さんと4年1組の「おおかわ じょん」さんです。二人は、きちんと停まって、目を見て、「校長先生、こんにちは」と挨拶してくれます。是非、みなさんも、いおりさんとじょんさんの様に挨拶をしてください。



もし、今まで挨拶ができなかった人がいたら、たった今から、しっかりあいさつをして、「挨拶パワー」のやりとりをしてください。

そして、素晴らしい九合小児童になってください。

### 今月の名言

あいさつ なに ころころ ひら あいて せま  
**「挨拶とは何か、それは『心を開いて相手に迫る』ということです」**

鈴木健二 (NHKアナウンサー)

あいさつ はじ おお こえ あいさつ あいて ころころ とびら  
ひら せかい ひろ しあわ み あ  
**「挨拶からすべてが始まる。大きな声で挨拶すると、相手の『心の扉』が開く。だから、世界が広がり、幸せに満ち溢れる」**

渡邊美樹 (ワタミグループ創業者)